

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		OZデイにしよど				公表日	2026年2月28日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	・利用者の定員に対して、十分なスペースがある。 利用者のパーソナルスペースを確保できるのも良い。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1	・看護師を含め適切な人数配置である。	・必要な人員配置について説明を行っている。 ・曜日によりバラつきはあるが、1日の人員配置は出来ている為、再度必要人数等の周知を行います。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1	・利用者様が過ごす空間に、あまり物を置かない様に心掛けている。	・必要ない物をフロア内に出しっぱなしにしない様に常に片付けなどを行っているが、更に環境整備を行います。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	・休憩中の利用者様と食事時の利用者様が同じ空間にならに様に配慮し、食事に集中出来る環境を作っている。	・クールダウンや食事、体調不良時など空間分けを行っているが、更に環境整備を行います。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	1	・それぞれの職種でのミーティングやグループLINEなどを用いて情報共有を行い、最新の情報を持って支援に当たっている。	・情報共有が出来ているかの確認を行います。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・日々、送迎時や公式LINEを用いて意見交換や情報収集を行い都度改善に努めている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	・全スタッフが一堂に会する事が無い為、グループLINEや職種別グループLINEにて共有や意見交換等を行っている。	・情報共有および改善を行っているかの確認を行います。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	5			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	4		・しっかりみんなで集まった研修は時間的に合わせる時間に難しい為、常にグループLINEにて共有と研修会資料の閲覧等の呼びかけを行っている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	・児発管より常に新しい情報を共有されていて、即時支援につなげている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	・ご家族様との常の情報共有にて対応を行っている。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	2	・常に情報最新の情報共有を行っている。	・各職種への周知を行っています。 ・周知された情報の確認及び共通理解が出来ているかの確認を行います。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	2		・支援計画をいつでも見れる様にしており、最新の情報は常に共有しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1	・保育分野メインとなって行っているが、内容に応じて看護や訓練職に意見を求めて作成している。	・管理者、児発管を含む各専門職のグループLINEにて情報共有等を行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	・季節感を大事にし、指先中心・全身など一カ月の中で行えるような内容を考えている。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0			

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	・午後出勤などで支援開始前に打ち合わせに参加出来ない職員に前日やそれより前に支援内容や活動時の動き等が分かる内容を紙ベースや職種別グループLINEにて共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	・その日あった事、次の利用日に関係する内容は常に共有。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	1		・それぞれの専門職がそれぞれの分野の支援録を行っています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	2		・公式LINEを使用しつつ、送迎時や連絡帳を元に必要に応じて常に聞き取り等を行い改善に繋げています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	1		・管理者や児発管が参加しています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	・MCSなどの連携アプリを使用し、他事業所や他機関と児の情報共有等を行っている。 話しやすい環境下にある。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	・MCSなどの連携アプリを使用し、他事業所や他機関と児の情報共有等を行っている。 話しやすい環境下にある。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	・MCSなどの連携アプリを使用し、他事業所や他機関と児の情報共有等を行っている。 話しやすい環境下にある。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	4	0		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	4	0		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	4	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	2		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	4		・隣近所との交流はあり、イベント等に声掛け等を行っています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	2	・研修は行ってないが、常に話しやすい環境をつくり情報共有を行っている。	・家族がいつでも相談しやすい環境を作っており、情報共有も行っていきます。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	・契約時の説明以外に、質問等がある際は説明の機会を設けている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	1	・公式LINEを用いて、話しやすい環境を作っている。	・家族がいつでも相談しやすい環境を作っており、公式LINEを使用しいつでも連絡や相談がしやすい環境を作っています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0	・イベント毎の案内や公式LINEを用いて写真や活動時の情報共有を行っている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	・Instagram投稿やオンライン生ライブ配信等を行っている。	

	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	・SNS等への投稿など顔や名前が出ない様に気をつけダブルチェックを行っている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	・公式LINEにていつでも休みや送迎変更を出来る様にしている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	0	・イベント等への参加案内周知	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	2		・各マニュアル等をいつでも誰でも見れる様にしています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	2		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	2		・紙での提出及び、グループLINEにて起こった事の情報共有と注意事項を共有しています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	2		・グループLINEにて起こった事の情報共有と注意事項を共有しています。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0	・身体拘束の使用がない	